

# がんばろう能登プロジェクト 第3弾

## 被災された能登地区の子どもたちへのバドミントン環境を整える

### 【～夢中にバドミントンができる機会を～】

#### 【活動目的】

被災された能登地区の子どもたちにバドミントンに夢中になれる機会を作り、バドミントンを通じて元気や笑顔を取り戻すこと。また、バドミンントンの楽しさを知り、感謝の気持ちを持つ選手育成を目的としている。

#### 【参加者】

現地の中高生約170名

#### 【活動内容】

2024年7月20日(土) コーチ：漆崎真子

9:00 挨拶	13:00 A:セミナー
9:05 w-up	B:w-up
9:20 TR	B:各コート練習
9:45 ノック	14:25 ノック
10:10 SM	14:50 対人ノック
10:45 Kill	15:15 ダブルス
11:10 半面S	15:45 ダウン
11:40 勉強会(賢いメンタルの作り方)	15:55 挨拶
12:00 午前の部終了	16:00 終了

#### 【成果・所感】

現地の生徒の皆さんが生き生きとバドミントンに取り組み、楽しそうにプレーしている姿を見てバドミントンをする上で最も大切な「楽しむこと」を再確認することができたと思います。また、漆崎コーチをはじめとした、約15名の指導者の方にも積極的にアドバイスをもらいに声をかける生徒や生徒同士でアドバイスをしている姿も見られ、現地の生徒の皆さんがバドミントンにしっかりと向き合っている様子もみられました。午前の部最後には漆崎コーチによる「賢いメンタルの作り方」のセミナーが行われ、劣勢な時のメンタルの保ち方や、不調な時の持ち直し方など、体を動かすだけでなく頭を使ってプレーをする大切さを学びました。練習が終わるころにはほとんどの生徒が笑顔で「楽しかったです！」と挨拶をしてくれました。バドミントンとは少し離れますが、未だ復興が進んでいない地域もあり家屋が崩壊していたり道路が液状化していたりと自然の猛威を間近で感じることができました。被災地が1日でも早く復興し、皆さんが安心してバドミントンを楽しめるようになることを心よりお祈りしております。

